

やさしい避難所

見えない障害にも配慮できる避難所での車中泊編



車中泊
三種の
神器

情報
電源

快適さ
マット & 寝袋

プライバシー
シェード
(カーテン)

A green banner with a white background and a green border. On the left is a roll of grey privacy shade. In the center are a purple mat and a green sleeping bag. On the right is a smartphone with a power cord. At the bottom right is a pink rabbit illustration.

私達のおもい

災害時、避難しなければいけない状況なのに、避難することをためらってしまうご家族がいます。その理由のひとつが「発達障害」や「アレルギー」です。症状が目に見えにくい周囲に理解してもらえず、避難所でトラブルになったり、食べ物を口にして命の危険にさらされることもあります。

福祉避難所もすぐに開設されるわけではないので、多くのご家族は避難をあきらめて自宅で過ごしています。一瞬の判断が生死をわけることもある災害の現場で、避難を躊躇することがあってはいけません。

この度の研修は「避難所に車で行って、車中泊できればいいのに・・・」という発達障害のお子さんのいるお母さんの声に応えたいと企画しました。

ただ、車中泊はどこでもできるわけではありません。現在多くの自治体が災害時の車中泊を積極的に推奨していないのも、エコノミークラス症候群や二次災害のリスクなど、車中泊には課題も多いからです。私達自身も車中泊の知識や経験が浅いため、避難所の駐車場で車中泊をするという想定のもと、看護師さん、車とアウトドアの専門企業、そして調理士さんの協力のもとで企画を考えました。多くの専門家とコラボしたことで、より具体的で説得力のある研修になったと思います。

毎年のように、日本のどこかで大きな災害が起こり、被害は甚大化、広域化する一方です。防災の現場も長引く避難生活に備えて多様な人々に配慮できるよう地域で考えていかなければいけません。

避難所運営の主役は地域住民のみなさんです。今回は「見えない障害を抱える」ご家族を対象に呼びかけましたが、他にも避難所で暮らすことに不安を感じて避難できない方がいらっやいます。事情を抱えるご家族が、地域の避難所の駐車場に「車中泊」をする選択ができるよう、地域の理解が広がることを願っています。

発起人 坂本京子（気象防災アドバイザー）

やさしい避難所プロジェクト(32名)

やさしい避難所を考える会

山口
トヨペット

湯田
自動車学校

モンベル
山口店

車中泊イベント

看護師

調理士

学生
ボランティア

たくさんの方が
関わっているよ

避難したくても、 避難所の環境に不安がある

ご家族がいます。

発達障害の子どもが
興奮して
避難した方に
迷惑をかけるのでは？

ペットと一緒に
避難したい

アレルギーがあるので
もし避難所の食べ物を
口にしてしまったら...

持病がある

LGBTQの
配慮がないので
周りの目が
気になる。

障害のある
家族がいるため
大勢の場での生活が
難しい

車中泊できれば避難所に行くのに・・・

私達の声

発達障害がある人は、いつもと違うことに対して生活に支障を来すほどの強いストレスを感じる人が多いです。特に災害時は発達障害の特性が顕著に現れてしまい、パニックを起こすこともあるのです。さらに、見た目では配慮や支援が必要だとわかりにくいので、迷惑をかけてしまうかもと避難所に行くことを拒み、車中泊の決断をする家庭も少なくないでしょう。車に避難することはパーソナルスペースやクールダウンできる場所になるので大変有効な手段だといえますが、いざ災害が起こった時に実際に車で快適に安心して過ごすことができるのか？という懸念がありました。

今回、実際に車中泊を体験してみて、親子3人で寝ると意外と狭かったり、寝返りが打てなかったりと、多くの課題が見えてきたのです。それぞれの家庭の状況や個人の特性によりますが、行政に頼らずにどこにどうやって避難をするかをぜひ経験しておいてほしいです。大切なのは、車中泊や発達障害のある子どもに限らず、自分自身が今できることをやっておくことだと思います。

親子で防災@みやの 代表 福田みゆき

食物アレルギーを持つ子供の家族や、当事者は災害時に避難所に行くことにとっても不安を感じています。避難所での食事についてもですが、食物アレルギーを持つ人の中には喘息やアトピー性皮膚炎をもつ方もいます。

普段自宅では、アレルゲンになる食物は持ち込まないようにしたり、周りの家族も本人にアレルゲンが触れないようしたり、ハウスダストなどにも気をつけ症状が出ないように生活をしています。

避難所での沢山の人の生活の中ではそれはなかなか難しく、重度のアレルギーの人の中には、アレルゲンの食べかすなどを含んだ埃などによって、アレルゲンに触った手で触れる事などでも症状が出てしまうこともあります。また、小さな子供だと避難所にある物を間違えて食べてしまうのではという心配もあります。避難しなくてはならない状況になった時、車中泊という選択肢があることはとても心強いことだと思います。いざという時のため、災害時を想定しながら実際にやってみて何が必要なのか考え、備えておくことが大切だと思います。

アレルギーっ子の会ほれほれ 代表 田辺理恵



キャンプやレジャーではない 「非常時の車中泊」

昨今のアウトドアブームで、車で仮眠をしたり、気ままに旅をする「車中泊」が人気です。専門誌や雑誌の特集も多く、キャンピングカーやキャンプ仕様にした車に人気が集まっています。日常で車中泊を楽しんでいる方は、その体験やノウハウが災害時にも役立つと思います。ただ同じ車中泊でも、非常時とレジャーでは、周囲の環境や置かれている状況が大きく違います。「災害時の車中泊」をキャンプの延長上だけで考えると、大きな危険を伴います。

【非常時の車中泊】

【レジャーの車中泊】

	大きな不安	↔	楽しい	
	ストレスが多い	↔	ストレスを 発散できる	
	準備や体調が 万全でない	↔	事前準備が できる	
	寝やすい 場所とは 限らない	↔	好きな場所で 寝られる	
	天気が悪化 することも	↔	快適な日も 選べる	
	やめたくても やめられない	↔	自分の判断で やめることが できる	

身体や心にかかる負担が大きく違います。

車中泊のリスク!

リスクや課題が多いため、多くの自治体が災害時の車中泊を積極的に推奨していません。

健康問題

通年

エコノミークラス
症候群

真冬

低体温症
一酸化炭素中毒
(マフラーが雪で
塞がれる)

真夏

熱中症
脱水症状

避難者の管理の難しさ

- 点在する車中泊避難者を回り、車内の状況の把握(人数や年齢など)や刻々と変化する情報の提供をするのは難しい
- 犯罪(盗難・覗き・性犯罪)、隣接の車や近隣住民とのトラブルに巻き込まれる危険も

季節

状況によって
多くのリスクが
あります

災害の種類

二次災害の危険性

駐車場所の危険をどう判断するか
(大雨による護岸の崩落や
土砂災害・浸水による水没
余震による周囲の被害に巻き込まれる)

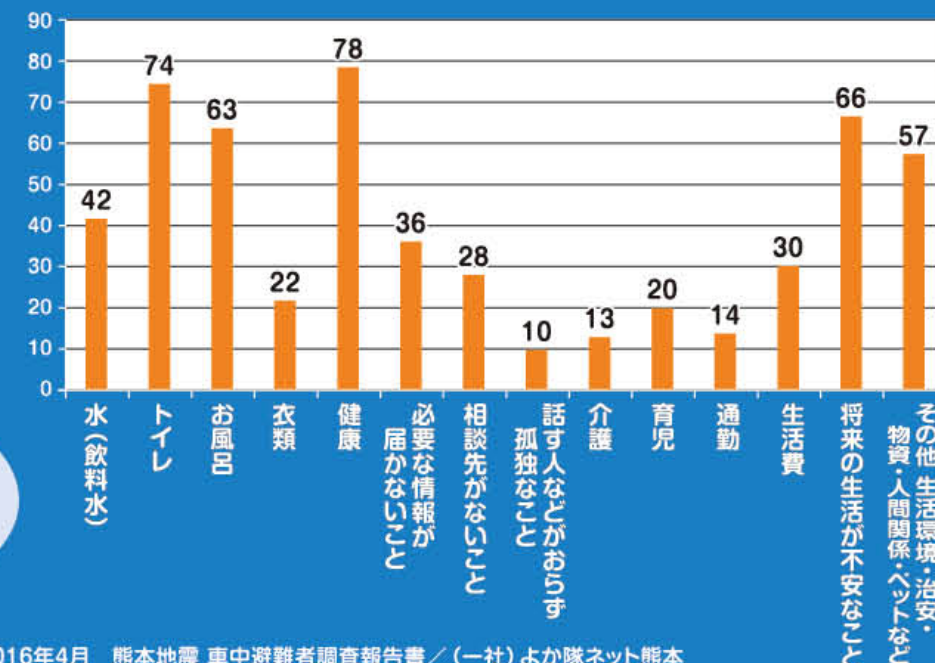
どこでも「車中泊」
できるわけではない!

そうなんだ!

2016年熊本地震では震災関連死200人のうち3割にあたる59人が車中泊を経験(毎日新聞記事より)

車中避難生活で困っていること

公園や施設の駐車場、広いスペースなど36か所で車中泊をしている182名にアンケート調査実施(複数回答あり)



特に困ったのは「健康」「トイレ」「お風呂」

引用:2016年4月 熊本地震 車中避難者調査報告書 / (一社)よか隊ネット熊本

災害時は 指定避難所の駐車場で車中泊しよう!!

行政が避難所として指定している場所です。



安心・安全

避難所は災害種別ごとに設定され、建物の安全性を確認したうえで開設されます。

運営は自主防災組織など地域の団体が中心で、自治体が調整役として加わるため、急な体調の異変や困りごとなどを相談できる環境です。

避難してくるのは、概ね地域の方で、避難者の名簿を管理し、不審者の出入りもチェックされます。

情報共有

避難所には、災害時に必要な情報が集まります。

停電になっても、避難所の電源確保、テレビやラジオ、インターネット回線への接続が速やかに行われ、被害状況の把握や最新情報の発信基地としての役割があります。

災害が長引いた場合は、復旧の窓口業務の開設など様々な便宜を受けることができます。

施設利用

地域が停電していても避難所はライフラインが速やかに確保されるので施設内の設備の復旧が早くなります。

また、避難所には多くの救援物資が届きます。

車中泊に限界を感じたり、暴風等で車中が危険な場合は、一時的に施設内に避難できるという安心感もあります。

夜は、知らない人や獣がいると不安で眠れない

- 車中泊の危険な場所
- ・川沿いや山のそば
 - ・虫や獣の多い場所
 - ・人気のない場所



避難所の駐車場には限りがあるため、事情を話して許可をもらうことが大切です。

なるほど!



車中泊できる場所を 事前に確認しておこう

避難所以外でも、車中泊として自治体が推奨している場所や、災害時に車中泊として開放される民間施設があれば、確認しておきましょう。

トイレや水道の場所、安全性などもチェック!



準備するもの

睡眠環境を整える



タオル フラットにするためシートの隙間を埋めたり、養生テープで窓に貼ってシェードがわりにしたりと用途は沢山。

補修用品



衛生用品



住環境を整える



その他

トイレや食事、情報を聞きに駐車場と施設を何度も行き来することになるため、大きめの傘や長靴があると便利です。



食料

避難所への避難者同様、最低3日分の食料と水を用意しましょう。



着圧ソックス

エコノミークラス症候群防止のために履いておくとよい。



電気・通信

懐中電灯 ランタン

災害時の灯りは大切。エンジンを切ったまま室内灯をつけるとバッテリーが上がることも。



～事前に予行練習をしておきましょう～

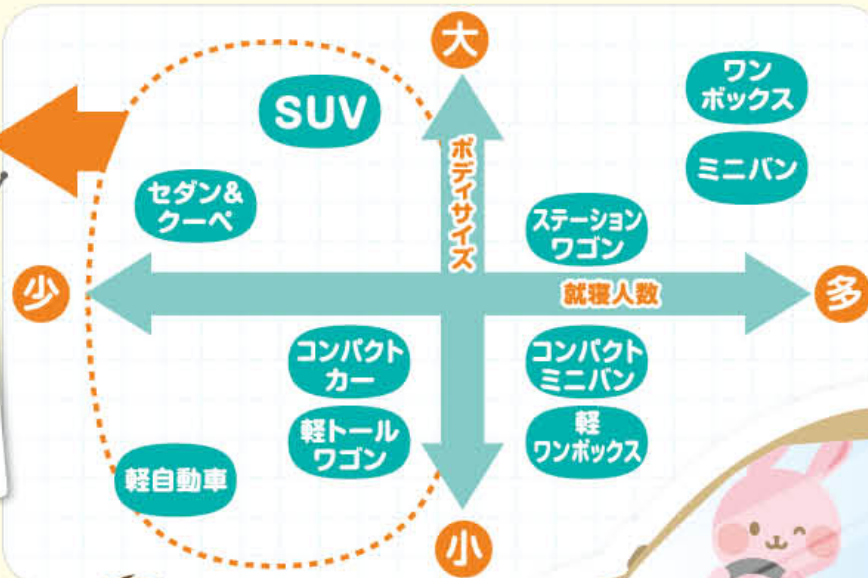
普段から車中泊に慣れておくため、レジャーとして楽しんでおくことも大切。まずは、実際に寝てみよう! 自宅の庭で車中泊してみることから始めても◎

車中泊の

ポイント

自分の車を知ろう

※分類はイメージです。車種によって就寝人数は異なります。



就寝人数が少ない車

避難所の駐車場ならお父さんと娘さんは避難所で、お母さんとアレルギーの息子さんは車中泊で別れて宿泊することもできます。



シートアレンジをしよう

1

1列目のリクライニングのみ



パッソ

基本、運転席と助手席のみで、足元に荷物を置いて長さを調節する必要あり。完全にフラットにはならず、後ろのシートは使えなくなります。

1列目のリクライニング + 2列目シート (運転席・助手席の背もたれを倒し (ヘッドレストを除いて) 2列シートと一体化)



シエンタ



VOXY

フラットに近くはなるが、段差が生じる。

アレンジしたシートに合わせてタオル・段ボール…何が必要かな

2

2列目シートの背もたれを「前倒」に倒し、荷室を一体化

比較的フラットになるが、ラゲッジの床は硬め。荷物の移動が必要になる。



RAV4

3

2列目シート+3列目シートでフラットな空間



VOXY



快適な空間をつくろう



プライバシーシェード (カーテン)

快適さ マット & 寝袋



情報電源



車中泊 三種の神器

電源



災害時は、クルマの中で災害時の貴重な電源確保ができます。

車種によって給電システムが違うので、自分の車の機能を確認しましょう。



マット & 寝袋

車中泊の基本は「いかに快適に睡眠をとるか」→「いかに車内を平らにするか」です!!

厚みのあるマットを敷くことで車内のデコボコを和らげ、フラットにします。季節に合わせて寝袋と併用すればより快適な空間に。昼間は畳んでクッションや枕代わりにもなります。



シェード (カーテン)

車内の暑さ・寒さを和らげる プライバシーを保護する 屋外の光 (明るさ) を調節する

食事シーンや着替えなど日中も外から見られたくない時や就寝時の防犯用に



日差しを避けるだけでなく、プライバシー保護の目隠しにも使えます。



一時的なら、タオルや新聞紙を養生テープで貼ってもOK!



つっぱり棒やフックを使ってカーテンにすることも。



網戸ネットなら視界をある程度さえぎりながら風を通すこともできます。

医療従事者
からの
提案

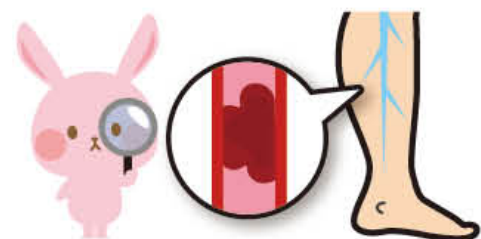


赤十字健康生活支援講習
講師 沖智子

災害時の生活で要注意! エコノミークラス 症候群を防ごう!

エコノミークラス症候群とは?

食事や水分を十分に摂らない状態
で狭い空間に長時間座っている
など、足を動かさないでいること
による血行不良などが原因で、足
の血管の中で血栓が出来て、詰まっ
てしまうことです。



症状

呼吸困難 冷や汗 胸の痛み

片足の腫れ、
むくみ、痛み

予防対策は
運動と水分補給!

血栓予防のために足の運動をしよう!
ポイントは、ふくらはぎにある
ヒラメ筋を意識して動かすことです。

その場で出来る! 予防体操

足ゆびじゃんけんグー・チョキ・パー



「グー・チョキ・パー」5回ずつやってみましょう。

タオルで足ゆび競争



「よーいドン!」で足の指を動かしてタオルをたくり
寄せていきましょう。

ふくらはぎ モミモミ

かかとで
ふくらはぎを揉むと
力が入ってオススメ



股関節 ユラユラ



股関節 マッサージ



運動が難しい人は着圧ソックスを履きましょう

ふくらはぎに圧をかける弾性ストッキングを履くのも効果があります。
ただし、医療用のものは履き方やサイズ選びに注意が必要です。

湯田
自動車学校
からの
提案

加藤 大季

湯田自動車学校
営業課

番号 第 123456789000 号

二種 平成00年 00月 00日 期 限 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 0 0 0
三種 平成00年 00月 00日 期 限 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 0 0 0



安全に車で移動するために

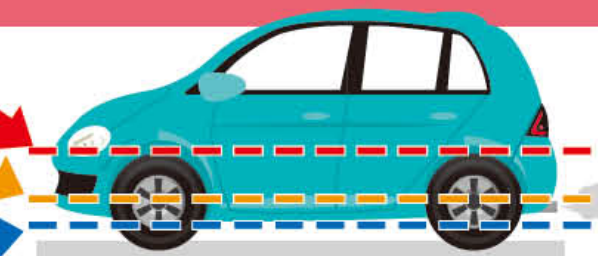
大雨時の車の運転に注意する事

冠水した道路

水圧によってドアが開かなくなる(ドア
の半分が浸かる程度)

マフラー(排気口)が浸かるとエンジン
が止まる(車体の下部が浸かる程度)

タイヤが浸かるとブレーキが効きにくく
なる(タイヤの下部が浸かる程度)



車が浸水したら

- ① エンジン OFF
- ② シートベルトを外す
- ③ 緊急脱出用ハンマー等で窓を割る



ヘッドレストでも
割れるよ!
これを機会に
調べてみよう。

「前の車が行けたから、大丈夫…」 「これくらいなら、いけるだろう…」

油断は禁物! 迂回、安全運転をしよう

避難時に注意する事

駐車している場所は安全?

- ・ 傾斜に止めてしまうと
車が動きだすかも
- ・ 避難指定場所以外では
避難や救助の妨げに



愛車の日常点検を

毎日点検の合言葉 **ブ**と**タ**と**燃**

- ブ** ブレーキの効きは大丈夫?
- タ** タイヤの空気圧・溝は大丈夫?
- と** 灯火類(ライト)は点灯してる?

燃料 ガソリンは
充分?

ガソリンが
半分以下になる前に
「満タン」に
しておこう!

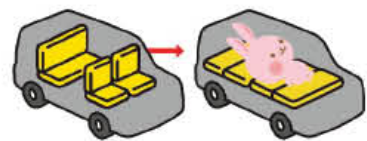


山口
トヨペット
からの
提案

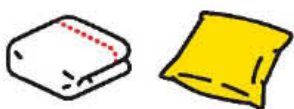


災害時に クルマでできること

車内で寝ることができる空間づくり



シートアレンジ (クルマで寝る)
家族構成によって、どんなシートアレンジができるか試しておく。また、自分のクルマのシートの動かし方も確認しておく。



フラット
フラットにならない場合は、段差やすき間を埋めるクッションやタオルを積んでおく。



プライバシーの確保
ひもで服やシート、タオルを吊るしたり、窓に新聞紙を貼ったり、目隠しにする工夫を。

トヨタ自動車では、車中泊避難の人数はどんなクルマでも「2名まで」、車種やスペースによっては「大人2名とお子様1名まで」を推奨しています。

ご家族が
コロナに感染!!
そんな時も、
車中泊で乗り切れる



車中泊
イベントに
参加
山口トヨペット
山口店
山下スタッフ

もしもの時に、クルマが電源になる

◆停電の際に、クルマから電力を供給することができます。

ハイブリッドカーには、家庭用のコンセントをそのまま挿して、給電できるものが増えています。
(トヨタ車では、20車種以上に設定)



たとえば、シエンタ(2022年モデル)にはコンセント(AC100V・1500W)の差し込み口が2ヶ所あります。

※ハイブリッド車にオプション設定

(トヨタプリウス2021年モデルの場合)
停電が発生しても、コンセントのあるクルマが家族の暮らしを支えます。
400Whの消費電力の時、約4.5日間の電力供給が可能です。

※プリウス、プリウスPHVが給電できる電力量(満充電・ガソリン満タン時):約40kWh(=約40,000Wh)。



もし災害が起きた時、
備えがあれば
クルマは避難場所になります



車中泊
イベントに
参加
山口トヨペット
山口店
山本スタッフ



その他、トヨタからの提案はこちら!
トヨタ災害復旧支援(TDRS)

イベント当日は、ポップコーン製造機や電子ポット、そして電子ピアノの演奏も全て、ハイブリッドカーからの電力を使いました!!



モンベル
山口店
からの
提案

モンベル山口店 店長
丹羽 敦士さん



車中泊の基本は マット選びから!

車中泊でも活用できるアウトドア用のマットを紹介します。
まずは、車内で寝るスペースをフラット(平ら)にする事が重要です。
寝心地はもちろん、マットの厚みや収納サイズ等、マットの特徴を押さえ、ご自身の車にフィットするマット等を選びましょう。



素材、軽さやクッション性(保温性)サイズもいろいろ

<p>空気注入式</p> <p>軽量でコンパクト</p>	<p>スポンジ+空気注入式</p> <p>保温性と快適性</p>	<p>折畳み式</p> <p>空気漏れの心配なし、好きな長さに調節可</p>
-------------------------------------	---	---

サイズ展開(90cm~180cm)

車中泊での使用例

【マットサイズを選ぶポイント】



マットは身長分の長さがなくても、背中と腰が覆われればOK! 頭と足は枕やクッションなどで補いましょう。

【マット+寝袋で快適に!】



マットやダンボールを敷くことでシートの段差を解消。寝袋は布団よりコンパクトに収納でき、マットは昼間クッション替わりになります。



モンベル店内のマット・寝袋コーナーです。沢山の種類・品揃えがあります!



車中泊訓練を やってみました!



山口市の湯田自動車学校で
車中泊を想定した日帰りの訓練を
行いました。



当日のプログラム

時間	内容
10:00	聞く! ~車中泊で気を付けること
11:00	見る! ~車をつかって、車中泊のポイントを学ぶ
11:30	実践! ~自分の車で車中泊準備をする
12:00	体験! ~炊き出しのお昼ご飯を車の中で食べる
13:00	体験! ~車の中で過ごしてみよう ハイブリッドカーやPHVを使った車中泊の展示 ポップコーンの配布
14:30	挑戦! 防災クイズ
15:00	解散

学生が
工作コーナーで
遊んでくれます。



自動車学校のコース内に
自家用車で集合!
今回は28組28台
スタッフ総勢125名が
参加。



聞く! ~車中泊で気を付けること



↑まずは、近年の災害と車中泊避難について防災の専門家から。



↑続いて、医療の専門家から。



↑盛り上がった足指じゃんけん!



車を止めたら、受付。
名札をつけて、こどもは
工作コーナーの
チケットをもらいます。



学生の手作り 工作コーナー



魚つりや輪なげで得点を
ゲットすると防災グッズのプレゼントが♪



見る! ~車をつかって、車中泊のポイントを学ぶ

山トヨペットによる ハイブリッド車とPHV車の展示コーナー



展示車両による
シートアレンジの
説明。

モンベル山口店による アウトドア用品の展示コーナー



マットや寝袋を借りて使い心地のお試し体験もしてもらいました。



マット + 寝袋で
寝心地を体験

実践! ~自分の車で車中泊準備をする



各自で準備してきたものやモンベル貸し出しのマットを活用。



夜になった想定で
就寝準備



体験! ~車の中で過ごしてみよう



体験中の連絡と防災クイズはトランシーバーを活用。車の中で情報を聞いて行動してもらいました。



ふくらはぎモミモミ、
股関節ユラユラをやってみたよ。

意外と快適!?
車種によってアレンジも様々です。



昼食はアレルギー配慮の炊出しメニュー*です!

*炊出しについては「やさしい避難所 食物アレルギーに配慮した炊出し編」をご参照ください。

挑戦! 防災クイズ



車の電源を利用して
ポップコーンと
お茶を用意。

最後にクイズの答え合わせをしました!
子どもたちも一生懸命考えていました。

参加者の声(アンケートから)

今回役に立ったと思うもの、あると良かったものは何ですか？



カーテン、除菌シート、レジャーシート、枕、クッション、ゴミ袋、寝袋、車用シェード、タオル(バスタオル)、ハサミ、新聞紙、養生テープ、ロープ、洗たくばさみ
網戸代わりになるようなもの(虫除け)
フロントガラス用の目隠し、黒のビニール袋
食事の際に使えるようなテーブル、スリッパ
アルミシート(目隠しと保温に役立つ)
電源なしで使える扇風機など(窓を開けても暑かったため)
冬用の寒さ対策グッズ、ランタン
お菓子、お茶、トランプ、DVD

参加された子どもさんの様子はいかがでしたか？



- 最初は落ち着かない様子だったが、徐々に慣れていった感じだった。
- 実際のときは時間が潰せる、ストレスなく過ごせるようカードゲームなど用意したらよかったと思った。
- 車をいつもと違う仕様にしたのが楽しかったみたい。
- 車が家みたいになって楽しそうだった。
- 車中では少し退屈そうにしていた。
- 初めての体験でいつも乗っている車の中が変化してちょっとわくわくしていた。

新たな「気づき」や「さらに必要だと思ったこと」は？

- 工夫次第で過ごせると思いました。
- 軽自動車では2人が限度だと感じました。避難所と車中泊で人数を分けて避難しなければと思いました。
- やってみないと分からない点がいろいろあった。
- 避難用リュックの用意だけでなく車中泊用も考えていきたいです。
- 座席を全て倒しても家族が多いと車は狭いと思った。
- うちの子は重度の自閉症です。車のエンジンを切った状態で窓を開けるのをすごく嫌がっていたのでそれを知れてよかったです。
- 途中、腰が痛くなったりしたのでストレッチや体操は大事だと感じました。
- 車中がかなり高温になるのでその対策が大変と感じた。
- ガソリンが満タンでないと不安。



私達も参加してみました!

今回のような、楽しい思い出となるような車中泊の経験を積みかさねていくことで、急な災害時の避難にも、子供達が安心して行動できるようになると思います。また避難方法の選択肢が増えることで、親も余裕ができるのではないかと感じました。

車の中は狭いながらもパーソナルスペースが守られています。シートを倒したり、タオルと養生テープで外からの視線や光等を防いだり、クッションやタオルケット等で姿勢の保持や体温調整をしたことで、思ったよりも快適に過ごすことができました。普段から乗り慣れた車であれば更に安心できると思うので、車中泊も頭に入れて準備をしておくといいですね。



まかたこどもアレルギークリニック院長
真方 浩行先生

学校で被災した時のために、**避難バッグ**を準備しておきましょう。

命をまもるために
マスク・除菌シート・ウェットティッシュ・薬・医療器具・好きな飲み物・お菓子

自分のことをわかってもらうために
ヘルプカード・メッセージカード・コミュニケーションのための絵や写真のカード

ひとりの時間を過ごすために
お気に入りのパズル・トランプ・ウノなど電源なしで楽しめるもの
本や辞書・回廊紙と色鉛筆

気持ちが安定するために
耳あて(イヤーマフ)・イヤホン・おもちゃ・手触りのいいタオル・家族の写真

車の中で寝たり、非常食を食べてみるなど、災害時を想定した体験をしておきましょう。

山口県立
山口総合支援学校
教諭



重症のアレルギーのお子さん
と家族の方々に災害時に避難所
に行くことに不安を抱えている方は
少なくないのではないのでしょうか。

アレルギー疾患は重症であればある
ほど急激に悪化することがあります。食物
アレルギーでは卵や牛乳などの微量のアレ
ルゲンの摂取や接触でアナフィラキシーをおこ
すことがあります。

寝具やホコリの中のチリダニ、ペットの毛やフケ、煙
(タバコ、焚き火、蚊取り線香など)や粉塵によりぜんそく
発作がおきやすくなったり、アトピー性皮膚炎が悪化する
ことがあります。

毎日のスキンケアや軟膏処置も欠かすことはできませんが、
薬を塗るときに十分なプライバシーが守られる必要があります。
アレルギー疾患の多くはバツと見ではわからないため、周囲の理解
が十分得られないのではといった不安もあるかもしれません。

重症のアレルギー児にとって、在宅避難が難しい場合は車中泊による
避難は選択肢のひとつです。

災害時の避難場所として車中泊を想定する場合はダニホコリ対策な
ど車内や持ち込む寝具の環境を日頃から整えておくといでしょう。寝具は
定期的に天日干しや布団乾燥機などを用いて乾燥させた後に1㎡につき20秒
以上を目安に入念に掃除機をかけると効果的です。また、緊急時の対応について
避難所の運営の方々にわかりやすく伝えることができるように緊急対応のメモな
どを事前に準備しておくとい安心です。

やさしい避難所



見えない障害にも配慮できる
避難所での車中泊編

制作／やさしい避難所をつくるプロジェクト（空みずきの会）
坂本京子・本田絵里・沖智子
協力／湯田自動車学校 山口ヨベット モンベル山口店
日本赤十字社山口県支部



NOEVIR
GREEN FOUNDATION